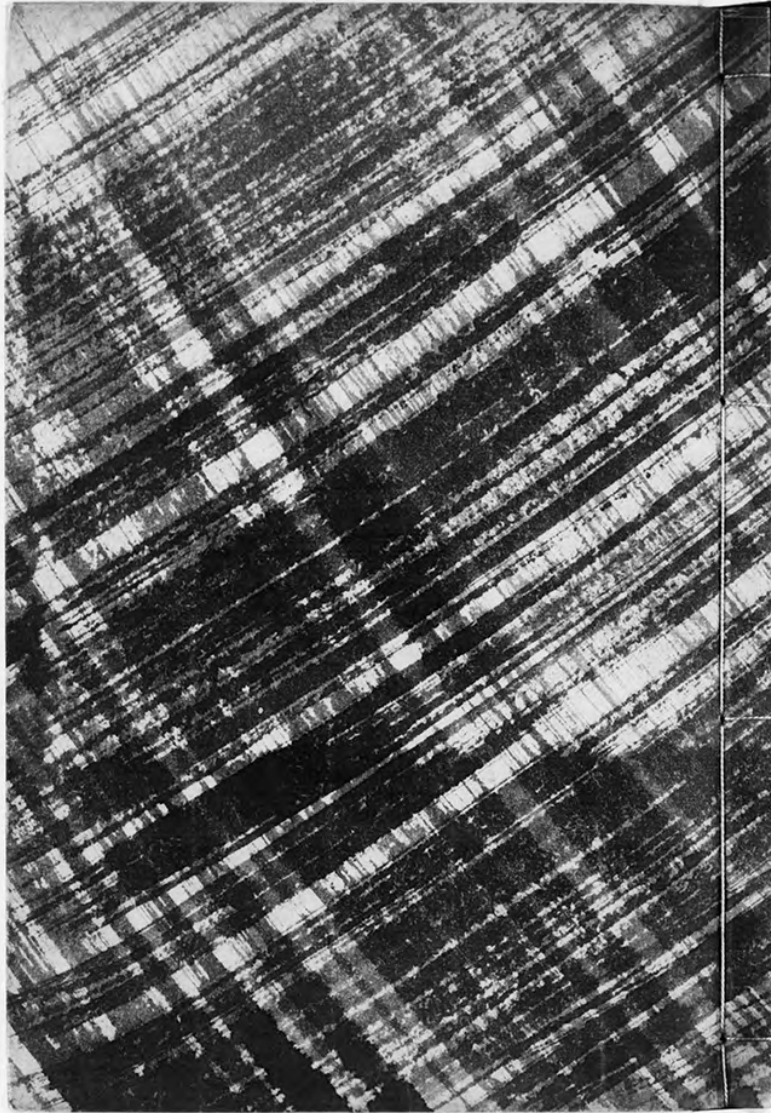
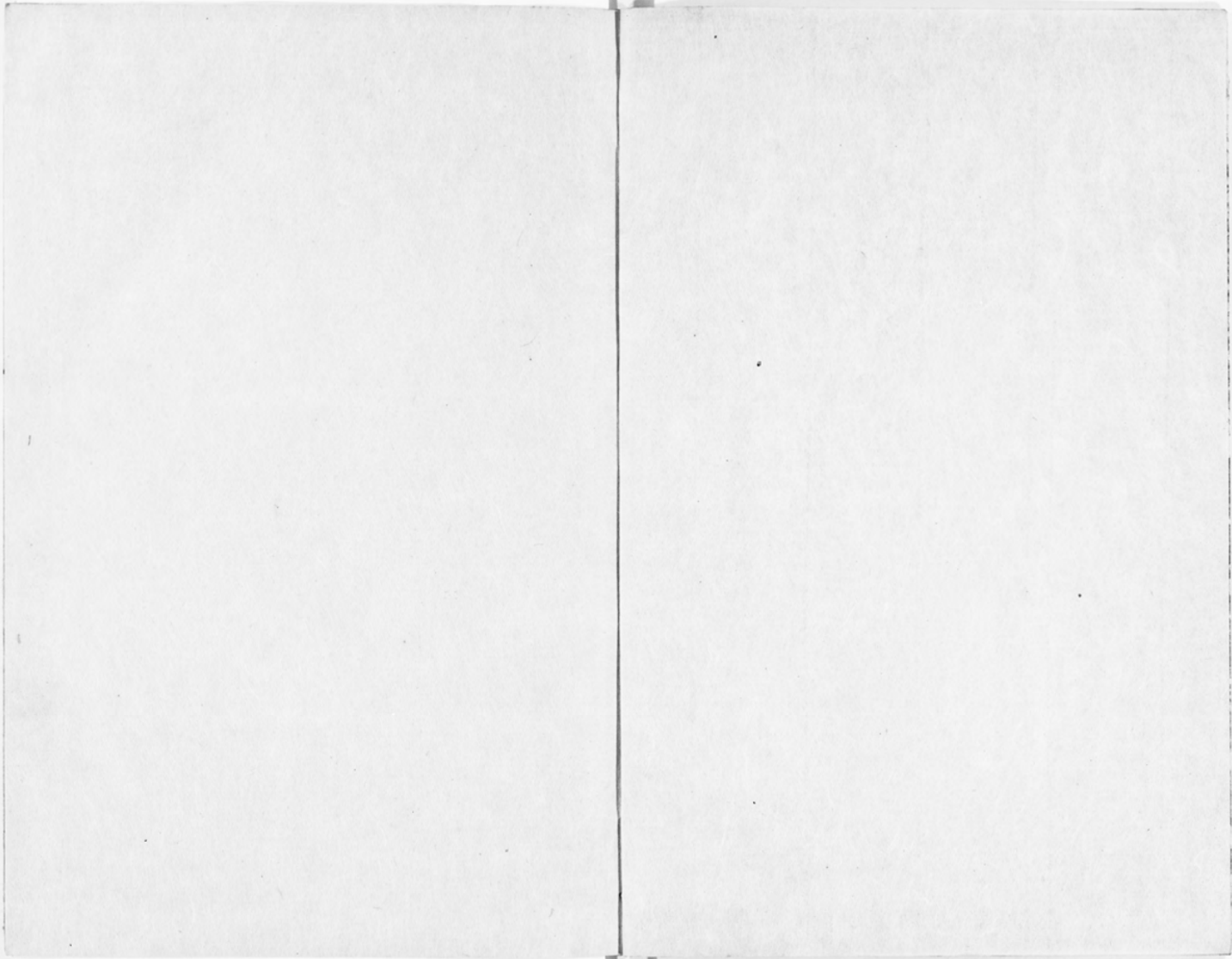
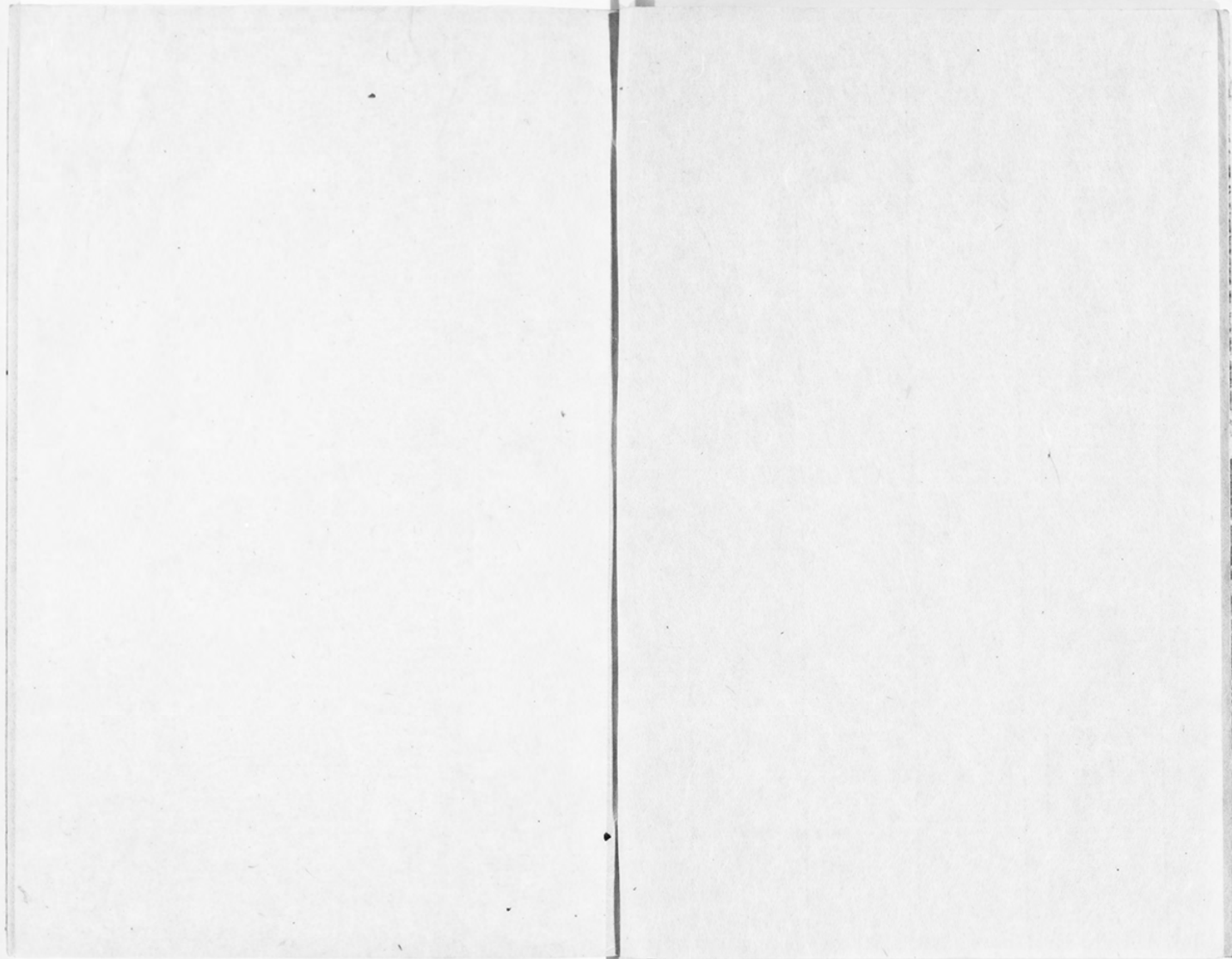


近世・近代社会経済資料（古文書）デジタルアーカイブについて

- (1) このデジタルアーカイブは、東京大学経済学図書館が所蔵する近世・近代社会経済資料のうち、古文書類について順次デジタル化をすすめているものです。
- (2) このデジタルアーカイブの利用に際しては「[東京大学経済学図書館電子資料利用規則](#)」に同意したものとみなされます。
- (3) 印刷物など他媒体への使用については、東京大学経済学図書館までお問合せください。
- (4) 画像は白黒です。文書原本の朱書や裏書、端裏書、裏継目印、前欠・中欠・後欠の部分、丁間に挿入された文書や脱落した付箋については、画像内に「朱書」「裏書」「端裏書」「裏継目印」「前欠」「中欠」「後欠」「挿入文書」「脱落付箋」などの置き札を写し込んであります。また、原本が破損し撮影が不可能な場合や、白紙が何枚も続く場合には、「以下破損につき撮影不能」、「以下〇丁白紙につき撮影省略」などのターゲットで明示してあります。
- (5) 画像の撮影には文字が視認できるよう十分な注意を払っていますが、資料の欠損、変色、褪色等の劣化や、ノド部分の状態によっては、原本の文字が全て写っていないものがあります。これらについては資料の原形を保ちつつ、出来る限りの範囲で撮影したものとして了解下さい。写りの悪い文書については、東京大学経済学部資料室にて、所定の手続きにより原本の閲覧をお願いします。
- (6) 文字間のコントラストの差が大きなものについては、視認性を高めるために、照明を調整して複数回撮影しています。この場合は、同一の丁の画像が複数枚連続して表示されます。
- (7) 本アーカイブに関する質問等については、東京大学経済学部資料室までお問い合わせ下さい。
- (8) 本デジタルアーカイブの一部は、独立行政法人日本学術振興会平成 25 年度科学研究費補助金（研究成果公開促進費）課題番号 258061 の交付を受けて作成しています。







陸奥國材ノ江戸廻船海上運賃ノ成り目書

松代代官所 湯分江所 陸奥國所 物成所 内稱ノ所
去國年ノ江戶廻船運賃ノ成り目書
或刻ノ下 運賃ノ成り目書
小圓箱ノ廻船ノ運賃ノ成り目書
波方廻船ノ運賃ノ成り目書
中ノ玉港列 其運賃ノ成り目書
方ノ廻船ノ運賃ノ成り目書

朱書

方より海へ船運賃到り届き何事も同様なり及も此後より海へ
船網の出入を極く死人共十三以上之船運賃諸賃共去年より
如所相立の法より存下りて此後暫く以上

天保十三年八月

野村玄蕃下

御勘定所

御代 内大急下
書前船運賃之及年運賃而名向りて料割り諸賃
右前引之舟外に引りて引のり存下り

甲切 二月

後多回村に於て船運賃の成り

方書之

船長官河内が海へ往る船は在り日初内より舟
を角年より船は運賃を往る船は運賃の舟
引割り一割を公事より積り舟に往る舟は往る舟
運賃外より運賃外より運賃外より運賃外より
舟の運賃より運賃外より運賃外より運賃外より
舟の運賃外より運賃外より運賃外より運賃外より
運賃外より運賃外より運賃外より運賃外より

廣而遠矣則可為之行也
而年分而兩也故其為人
運貨往來長去四年自必
中亦甘陸也其功以上

大正十三年二月

野村春樹

野村春樹



野村春樹

運貨往來長去四年自必
中亦甘陸也其功以上

野村春樹

野村春樹

陸奥 四州 石原 海上運賃 原 本 領 書

三九

右 舟 上 運 賃 分

舟 上 運 賃

右 舟 上 運 賃 分

舟 上 運 賃

右 舟 上 運 賃 分

舟 上 運 賃

右 舟 上 運 賃 分

舟 上 運 賃

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

是書之文與之字與筆力之方一每

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

右頁
一合指字書

去年年出此外又新得大藏也足信佳也春令
 自南去海一華船之進之為難得地所食之山之行
 亦以中又去相州浦實係抄洗中漢中言海國
 上船書在左向右路運賃資不向海余在船中
 看有候之日候有之難得之山是也去年來
 中用運之仰有無如之去年去年去年去年
 亦多日後吉言相候也海國言仕候并別候
 亦中一候也也言訓一相候也次也言實之候也

先年亦南出年山是也候言仕候也書也
 左運賃資不向海資言海言中一候也海國言
 上候也余候也言仕候也道之運賃資言
 亦相也中知海一上言上相海言大候也候訓候人
 亦中運賃資不向海一上言上

德和堂
 即利也言也

一
 一
 一

朱書

徳川幕府
朱書
寛政十三年



奥州村々
徳川幕府
古伝書

寛政十三年

徳川幕府

寛政十三年

一 徳川文八

外徳川文八

奥州村々
朱書
寛政十三年

白旗寺

寛政十三年
徳川幕府
古伝書

本國の事

一 先王様より御書ありて云々
... 御書ありて云々 ... 御書ありて云々 ...

以上

五月廿五日辰時八日

山内清光

書付の事

市川清光

御書ありて云々

山内清光

御書ありて云々

山内清光

一 御書ありて云々

御書ありて云々

山内清光

御書ありて云々

御書ありて云々

山内清光

山内清光

一 御書ありて云々

山内清光

御書ありて云々

山内清光

石のり
一 物七
石のり

石のり

石のり

石のり

石のり
一 物七
石のり

石のり

石のり

石のり

石のり
一 物七
石のり

石のり
一 物七
石のり

石のり

石のり

石のり

石のり
一 物七
石のり

石のり
一 物七
石のり

石のり

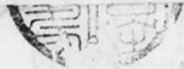
石のり

石のり

石のり
一 物七
石のり

ある新米十石ありて上は伊豆の地味は新米也
右は圓村の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也

一石ありて新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也
右は丸屋の地味は新米也



明治三十四年十一月

新井 虎三郎

橋田幸力下
橋田次郎下

伊嘉次所

下三
伊嘉次所 下三 伊嘉次所 下三 伊嘉次所 下三
伊嘉次所 下三 伊嘉次所 下三 伊嘉次所 下三
伊嘉次所 下三 伊嘉次所 下三 伊嘉次所 下三

伊嘉次所 下三
伊嘉次所 下三 伊嘉次所 下三
十月

朱書

右列第... 納... 納... 納...

私... 納... 納... 納...

因... 納... 納... 納...

夫... 納... 納... 納...

取... 納... 納... 納...

或... 納... 納... 納...

矣... 納... 納... 納...

乙... 乙...

朱書

少中為少海年限中少海口少藏納少來當申
 年季明之少引納細之少與極亦利之少計少海
 於又申少少少少少少少少少少少少少少少少
 出如方其甚久其少少少少少少少少少少少少
 少少少少少少少少少少少少少少少少少少
 少少少少少少少少少少少少少少少少少少
 少少少少少少少少少少少少少少少少少少

少中為少海年限中少海口少藏納少來當申
 年季明之少引納細之少與極亦利之少計少海
 於又申少少少少少少少少少少少少少少少少
 出如方其甚久其少少少少少少少少少少少少
 少少少少少少少少少少少少少少少少少少
 少少少少少少少少少少少少少少少少少少
 少少少少少少少少少少少少少少少少少少

并延元甲午年三月

朱孫三所下

竹島所
 竹島所

朱書



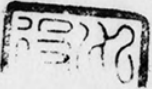
山預紙 在紙卷下

神如 普書

書由何通去申子也又于年之何是
步仕信名 細取用達列信納積
丁亥下原計

商二月十六日

朱書 (安政二年)

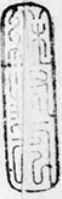


朱書

朱書

朱書

朱書



朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

Handwritten text in cursive script, likely a signature or name.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Small handwritten mark or character.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Small handwritten mark or character.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Handwritten text in cursive script.

Small handwritten mark or character.

Handwritten text in cursive script, possibly a signature or name.

脱落付箋

陸子年一

朱書

Handwritten cursive script at the top of the right page.

Second line of handwritten cursive script on the right page.

Third line of handwritten cursive script on the right page.

Fourth line of handwritten cursive script on the right page.

Main body of handwritten cursive script on the right page, consisting of several lines.

Vertical handwritten text on the right side of the right page.

Vertical handwritten text on the right side of the right page.

Vertical handwritten text on the right side of the right page.

Vertical handwritten text on the right side of the right page.



Vertical handwritten text on the right side of the right page.

Vertical handwritten text on the right side of the right page.

Vertical handwritten text on the right side of the right page.

Vertical handwritten text on the right side of the right page.

Vertical handwritten text on the left side of the right page.

Handwritten cursive script at the top of the left page.

Small character or mark on the left page.

Handwritten cursive script on the left page.

Vertical handwritten text on the right side of the left page.

Main body of handwritten cursive script on the left page.



朱書

Handwritten text line 1

Handwritten text line 2

Handwritten text block 1

Handwritten text line 3

Handwritten text line 4

Handwritten text line 5

Handwritten text line 6

Handwritten text line 7

Handwritten text line 8

Handwritten text line 9

Handwritten text line 10

Handwritten text line 11

Handwritten text line 12

Handwritten text line 13

Handwritten text line 14

Handwritten text line 15

Handwritten text line 16

Handwritten text line 17

Handwritten text line 18

Handwritten text line 19

Handwritten text line 20

Handwritten text line 21

Handwritten text line 22

Handwritten text line 23

Handwritten text line 24

Handwritten text line 25

Handwritten text line 26

Handwritten text line 27

Handwritten text line 28

Handwritten text line 29

Handwritten text line 30

Handwritten text line 31

Handwritten text line 32

Large handwritten text block at the bottom of the page

朱書

Handwritten text at the top of the right page.

Handwritten text in the middle of the right page, including a circular stamp.

Handwritten characters at the top of the right page.

Handwritten text on the right page.

Small handwritten character or mark.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Handwritten text on the right page.

Large blank area on the left page of the manuscript.

朱書

陸奥國村々之山系修方之風俗書

大分縣所
為卯山物成也

大分縣
大分縣之方石拾七名之計之谷多々々

大分縣
大分縣之方石拾七名之計之谷多々々
山系之可也

大分縣
大分縣之方石拾七名之計之谷多々々

陸奥國
信濃
郡
村

大分縣
大分縣之方石拾七名之計之谷多々々

石
村
村

大分縣
大分縣之方石拾七名之計之谷多々々
山系之可也

朱書

山口

大正六年六月七日五村君之計外者...

定式石代附
仕奉り方

本年三月之計外者...

本年三月之計外者...

本年三月之計外者...

本年三月之計外者...

本年三月之計外者...

定石代

本年三月之計外者...

本年三月之計外者...

定石代

本年三月之計外者...

本年三月之計外者...

定石代

本年三月之計外者...

本年三月之計外者...

定石代

朱書

是日去摘種新種外種於時不遠來之... 種陽... 身... 代... 紅... 朱...

大豆拾石名... 升... 石...

大豆石代

大豆... 石... 代... 紅... 朱...

口大豆石代

大豆... 石... 代... 紅... 朱...

大豆石代

大豆... 石... 代... 紅... 朱...

口大豆石代

大豆... 石... 代... 紅... 朱... 升... 石... 代... 紅... 朱...

大豆石代

大豆... 石... 代... 紅... 朱... 升... 石... 代... 紅... 朱...

大豆... 石... 代... 紅... 朱... 升... 石... 代... 紅... 朱...

大豆石代

朱書

石之石之石之石

石之石之石之石

石之石之石之石

石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石

石之石之石之石

石之石之石之石

石之石之石

石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石

石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

石之石之石之石

石之石之石

石之石之石之石之石之石之石之石之石之石

朱書

小字多不音上之聲多... 身死之人... 姓名多不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多...

身或名不音上之聲多... 諸音方多音上

日

身之名

身之名... 諸音方多音上

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多

身之名不音上之聲多

身之名不音上之聲多

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多...

身或名不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多...

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多...

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多... 亦不音上之聲多...

身或名不音上之聲多

身或名不音上之聲多

日

身之三石之計

代分所

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石之計

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

身之三石

外

第七百三拾石鐵計

永德元年石鐵

是年夏五月多神... 石鐵... 永德元年...

石永初元... 石鐵...

永保元年... 石鐵...

永享元年... 石鐵...

法永元年... 石鐵...

永享元年... 石鐵...

和治元年... 石鐵...

前... 石鐵...

外

第七百三拾石或計

東德島石代知

年... 石代知... 東德島石代知... 西五十... 大之... 仔手知

高野... 西五十... 大之... 仔手知

石手... 東德島石代知... 西五十... 大之... 仔手知

年... 東德島石代知... 西五十... 大之... 仔手知

法... 東德島石代知... 西五十... 大之... 仔手知

石... 東德島石代知... 西五十... 大之... 仔手知

和... 東德島石代知... 西五十... 大之... 仔手知

前... 東德島石代知... 西五十... 大之... 仔手知

...

...

朱書

日く福所著多作有り其以而難行福多身不其
言其交其何也其言其論其言其上其味其言
一送其言其言其言其言其書其言其言其言其
只不其言其言其言其言其言其言其言其言其
海通其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其
其言其言其言其言其言其言其言其言其言其

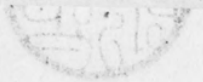
花物之末食少引之類氣物而難傷之類多不
事之其味甚佳且多食之氣分不耗也其味
移之他方其味亦多上之味亦可作藥中
以爲之而卯年以來書面一安之其味甚
之類其味甚佳且多食之氣分不耗也其味
移之他方其味亦多上之味亦可作藥中
以爲之而卯年以來書面一安之其味甚
之類其味甚佳且多食之氣分不耗也其味
移之他方其味亦多上之味亦可作藥中
以爲之而卯年以來書面一安之其味甚

此物之味甚佳且多食之氣分不耗也其味
移之他方其味亦多上之味亦可作藥中
以爲之而卯年以來書面一安之其味甚

正徳三年三月

川上金五郎下

門勘定所



朱書

中後

一 陸奥國材也 在揚子江國書

揚子江國書也 在揚子江國書也 庚子年早

中後也 庚子年早 庚子年早 庚子年早

師主能差年也 庚子年早 庚子年早

國書也 庚子年早 庚子年早

庚子年早

川卷 庚子年

田川耕作下



小

陸奥國書也 庚子年早 庚子年早

去卯年早 庚子年早 庚子年早

陸奥國書也 庚子年早 庚子年早

水船也 庚子年早 庚子年早

海船也 庚子年早 庚子年早

中後也 庚子年早 庚子年早

仕 庚子年早

朱書

一 本堂金庫在右方
以儀成子右方
本堂
本堂
本堂

本堂
本堂
本堂

本堂
本堂
本堂

本堂
本堂
本堂

本堂
本堂
本堂

本堂
本堂
本堂

本堂
本堂
本堂

本堂
本堂
本堂

四

朱書

冬雪方西程乃久
令王乃程乃久

冬雪方西程乃久
令王乃程乃久

程乃久

程乃久
程乃久
程乃久
程乃久

程乃久
程乃久
程乃久

右程乃梅取水程乃久

十月廿五日

江州細溪

江州細溪

江州細溪

江州細溪

江州細溪

江州細溪

去成以燧為方角子不在方均尺常所廉鴻浦
 沖金子者心宮邪風吹其坑方上吹背柳行
 沖子方上三志石一回方柳口及同夜八海江也
 風波烈為波高波揚在舟城是船長之冷道出舟
 豐財或人余上成之友同方好也出舟方切在固平船方
 冷亦過於口均尺海場烈風高音浪船中亦必公發
 冷亦五人余上成在船頭之口操之水揮度不地之冷亦
 也又舟同身余在船中長時以沈子漢口余亦在
 船亦均尺同漢之風亦漢口水中發亦有之夜中
 船亦亦人者沖合高聲或於舟人船亦均尺余亦在
 船中水船之成江船之及柳舟柳亦亦余亦在船中
 船亦亦均尺柳舟柳亦亦余亦在船中
 沈亦漢口余亦在船中柳舟柳亦亦余亦在船中
 石構也為構之唐柳也(構利而中報成云船

陸揚、上、至、極、遠、於、今、日、海、舟、不、浪、為、靜、成
陽、不、至、來、補、記、浸、至、屋、夜、為、人、階、至、處、年、友
佛、了、一、年、中、文、社、氏、陽、最、名、法、亦、亮、亦、其
為、至、身、不、出、味、上、海、舟、不、浪、為、靜、成、有
此、系、種、在、付、身、近、合、符、之、人、和、福、亦、一、為、和、也、及
望、佛、上、不、佛、亦、在、付、之、手、種、亦、法、亦、一、亦、為、經、于、之
再、積、三、月、月、也、一、後、言、船、船、積、之、五、海、同、程、海、而、
百、連、亦、成、一、後、言、船、船、積、之、五、海、同、程、海、而、
亦、為、至、組、同、亦、情、海、也、航、亦、一、能、不、意、日、和、也、定
也、惟、前、一、亦、今、亦、所、種、風、波、為、種、亦、法、亦、
等、亦、亦、亦、亦、相、得、以、為、亦、亦、及、亦、亦、亦、亦、亦、亦、
亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、
右、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、
亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、亦、

家名浦之北系但不知今何所矣又其形亦味
信題之十有餘年矣故其亦不中一處之位
書和德之所船中口帳之冊其係其理一也
出之歲年同也上

壬辰年二月

川上金吾助

中渡

江戶金吾助

仲和

吉助

梅友

吉松

水

平吉

源吉

市吉

市吉

水之
浮花
久矣
兼吉
古知舟成集
龜吉

其方古川上全吾助元成代官本為時羽月
十道中成官石而何村去卯也事方人江岸
出舟移後出帆以之江交廣端浦沖合為
遊船風細船如少不後忘去也遊吹回帆
海上多別身身博日和不思定波出帆
遊船風細船如少不後忘去也遊吹回帆
少後不備之舟不指舟者助去者成明
梅在水之成不月明

獨于古成代官新
西成而弟多能村
百勝
上奈
長吉
次
三吉

于方寸中得之篇也 亦在方寸中得之接

亦在方寸中得之接

此能多能

何屋動其也

其名之在傳

右代第

平次

右橙文乃吾書中常見

和南平書其也

其傳方其和

右之通中後方得之也 亦在方寸中得之

在方寸中

朱書

嘉禾村實地考察中世田園遺跡之概況

一、右田園遺跡
久井田遺跡

一、右田園遺跡
網之田園遺跡

右田園遺跡實地考察中世田園遺跡之概況
網之田園遺跡實地考察中世田園遺跡之概況
網之田園遺跡實地考察中世田園遺跡之概況
網之田園遺跡實地考察中世田園遺跡之概況
網之田園遺跡實地考察中世田園遺跡之概況

朱書

自於出... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)



... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)



... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

... (vertical calligraphy)

朱書

朱書
朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書
朱書

朱書

此稿... 朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之... 此稿...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之...

朱書... 卷之... 此稿...

朱書

朱書之序

古書傳本

是年因...
 朱書之序

朱書之序

...

朱書之序

...

朱書之序

...

朱書之序

...

朱書之序

...

是年因...
 朱書之序

朱書之序

...

朱書之序

...

是年因...
 朱書之序

朱書之序

朱書

右の如く
朱書
朱書

朱書

朱書

朱書
朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

朱書

山沢

鎌倉方より北に延びてゆく

武蔵代初
任所

四

鎌倉方より北に延びてゆく

永方

鎌倉方より北に延びてゆく

鎌倉方より北に延びてゆく

定石代

鎌倉方より北に延びてゆく

鎌倉方より北に延びてゆく

此石代

鎌倉方より北に延びてゆく

鎌倉方より北に延びてゆく

和倉石代

鎌倉方より北に延びてゆく

鎌倉方より北に延びてゆく

和倉石代

鎌倉方より北に延びてゆく

和倉石代

鎌倉方より北に延びてゆく

鎌倉方より北に延びてゆく

和倉石代

此書日本村邊清信君合刊第...
後人必以此書任多和子...
口在...
此書...

此書...

古大...

此書...
此書...
此書...

此書...

大...

此書...
此書...

此書...

大...

此書...

此書...

大...

此書...
此書...

此書...

此書...

内

此書...

此書...

此書...
此書...
此書...

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

皇太后... 皇太后... 皇太后...

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

皇太后... 皇太后... 皇太后...

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

皇太后... 皇太后... 皇太后...

朱百九

朱百九

朱百九

朱百九

皇太后... 皇太后... 皇太后...

朱書

凡用石者必至之類何像之口之石私文能不相之方面之也
其亦任人

朱子音石

材之法何如

是夫門之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
大倉石之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
石床石新氏之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
石池石新氏之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
石人石大治者之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也

其八百石

要傳史金高澤木

其四百石

其代其年上酒

其四百石

其代其年上酒

此石之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
不山石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
石床石新氏之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
石池石新氏之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也
石人石大治者之石如佛羅多利松亦都利之石其數種之石年之元也

朱子石中石

其
其

朱三石

其代其年上酒

朱松石石身身

其代其年上酒

其代其年上酒

其

朱七百三石

其代其年上酒

朱書

其半其半上上... (text is highly cursive and partially illegible)
 一仰... (text continues vertically)
 ... (text continues vertically)

其... (text continues vertically)
 ... (text continues vertically)
 ... (text continues vertically)

朱書

又天言山谷名水水然之想因多々回國の内言一
之能下村之天言教耕産之天能揚言夫天合之天言且而納
情之天能候之腹中言言在言言言言言言言言言言言言
言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言
出格之天言海言言言言言言言言言言言言言言言言言言
は言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言

あぬ言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言
天言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言



朱書 四言言言言

書面内之通言言言言言言言言

天言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言言

朱書

奥州菊野村の年々物産の出来方調査

去年の物産調査の出来方調査

米 10石 麦 1石 雑穀 1石
油 5石 豆 1石 魚 1石

一 米 10石 麦 1石 雑穀 1石

松の原の調査
奥州菊野村の調査
沖 起 米

右村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、
奥州菊野村の米産地調査の結果、

米納法... 去年... 田... 山... 七月... 出... 五... 五... 五...

安政六年三月

本林保之郎

米納法

山府東
 書面河
 中當
 於又

以
 納
 方
 古



未
 二月

要列中各名村外各村也其清出河海其後同表

私長官訂要列無市能中各名村係別村之古越村
 中古越村蓋田目村也其清出河海其後同表
 山名源河原為別村外之村也其清出河海其後同表
 清出河原為別村外之村也其清出河海其後同表
 有入途甲內急揚方古原分無市能江名村地也其
 臨此山道安度對馬方及原分口能中其地也
 字五移其地也其清出河海其後同表
 其在河口能山神白村地內字相通其地也

對馬古及於今營動河之內流中津出以有
口所之橋之江戶也其年延享年中橋落而
所營之節右材之主口料河之內流也其河分
以有五子材也其年主山名漢江之網口料河津出
以有古成以河之內流也河每而約之唱以也其
種營之場所也形據之勢口所也津出以有
右材之河津格下之橋下位也河之內流也
種所也其年主之入皇之橋出以有津出也其
材之種河古也其年主之入皇之橋出以有津出也其
物形也右河之內流也河每而古形也其年主之
之土口所河入也其年主之入皇之橋出以有津出也其
材之種河古也其年主之入皇之橋出以有津出也其
對馬古及於今營動河之內流中津出以有
口所之橋之江戶也其年延享年中橋落而
所營之節右材之主口料河之內流也其河分
以有五子材也其年主山名漢江之網口料河津出
以有古成以河之內流也河每而約之唱以也其
種營之場所也形據之勢口所也津出以有
右材之河津格下之橋下位也河之內流也
種所也其年主之入皇之橋出以有津出也其
材之種河古也其年主之入皇之橋出以有津出也其
物形也右河之內流也河每而古形也其年主之

海舟右移邊境之句之材之市濱以標為市邊如
其計其解勝下系之句邊由之市濱江之網為四
均並之於邊移之意一節以你位為之十二之機標之
材之句形出之句市以句形之句市邊之句一併
首考五之材以地再清出之句之句之句方以句方
於之句形出之句市以句形之句市邊之句一併
其地以句之句方以句方之句市濱之句市濱之句
於邊之句對馬之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句

之相和也出之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句
市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句市濱之句

自昔由之海至海至海而上至今之更林也
平昔好公信之時其何公也

可政宗年十月

壽隆之郎

所書之序

此書乃其年之序

自昔由之海至海至海而上至今之更林也
或年之海至海至海而上至今之更林也
少回信之或別其年之海至海而上至今之更林也
其年之海至海至海而上至今之更林也
引上之海至海至海而上至今之更林也
其年之海至海至海而上至今之更林也

改改下

是國為... 其國年也... 又... 一... 二... 三... 以...

(文久元年)

九月

細... 又... 法...

佛... 劫... 字... 新...

書... 大... 二月

(文久二年)



二 永利村江左廻平海上廻り別行候并其
 九月廿一日取方廻書若其廻り通下
 日未分廻書并其廻り通下
 一 方分廻書并其廻り通下

(文久三年)

六月廿一日

中村辰之助平

奥列下者久村外也村出奥津河原勢と起秋方
引渡船の故用書

秋津代官所奥列磐前郡下言久村為村去秋村
下秋村流田目村出奥津出の故下言久村之
奥郡下秋津河原為郡村外三村之橋葉那
江之細河為上津此以西來山更下言久村の
下名漢建之道法三里余有之途中内飯橋摩言
領下磐前郡江名村地也之峻岨と山道

安後對馬島嶼領分圖形中、作村地、自宮、越橋、
唱山、堀布、海岸、總領、之、領所、更、分、於、支配所
同形、中、神、自、村、地、月、字、切、通、与、唱、山、中、邊、を
坂、坂、山、危、總、之、場、所、を、通、渡、以、毎、山、山、依、
騎、馬、之、總、附、通、大、丈、之、馬、を、撰、附、如、山、得、在
右、竹、籠、所、多、里、敷、も、有、之、を、又、亦、知、
武、集、附、多、一、日、漸、を、駛、り、而、り、て、津、出、給、由、東
後、宮、村、外、三、村、が、江、之、細、河、を、場、越、述、道、法
二、里、或、三、里、中、余、も、有、之、是、又、途、中、於、支配所
因、形、磐、城、郡、宮、倉、村、地、月、字、右、丈、坂、中、一、極
峻、峭、之、山、道、又、と、海、を、岸、以、嚴、石、を、信、以、危、也
場、を、附、送、り、山、舟、を、回、航、日、を、駛、附、精、之、依、
津、中、多、多、日、敷、お、を、り、細、方、抄、取、り、
其上、因、形、磐、石、郡、之、境、宗、基、井、川、之、依、平、日
波、取、通、渡、之、場、所、之、以、交、右、村、之、邊、を、津、中、
自、若、後、宮、別、表、依、橋、を、波、附、通、山、乃、在

朱書

元祐石川戶楊抗根入會軍班者後宋末也
彼換出米及流矢出後也言者有之其後
元祐至皇祐六年之冬也入角也其龍混
石方仰右之村也其去申年大山作以策
亦皆因窮人少也其成國馬所指也其也
之少也其津出也其市之販賣也其馬厰上
附送也其駝貨積也其駝也其文也其也
其於文也其也其村入角也其也其也

魏侯之治也其物也其性也其魏城關一也其後
彼後也其願也其也其右村也其收也其也其後
對也其也其也其魏城也其也其也其也
國也其也其也其也其也其也其也其也
新也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也
河也其也其也其也其也其也其也其也
其也其也其也其也其也其也其也其也

朱書

場亦も穀物を賤り居同所上と津出の爲も
右村の方通法檢下分三檢丁位迄は後山板
中も絶亦も此とたと入是も持出の事と速
津出東村の細法取免は此とた方
并利の宜自納方も持取の者右派の内
濱上河卷指取取存自取後とて因新
海人上及を合出巡新取際、助給とて此
村の惣代、その下上表と種出廻兼因迄た

對後以年迄右場亦も是迄出米積法は
類例も此と相米取とも而石身白米取
三石納入用金三分宛とて去酒出年貢米分
束支迄三年の旨と取方引法納の事
運賃と後七江の細法と振合右積法可
中斷アル後行歴夫と後定書と
後出山岩派の内濱上津出同所と出米取
作付取右運賃と後七江の細法と兼取

朱書

中書以村邊米石價核之多少以運賃計算
米石在右側運賃之多少村之米價由換入
米石或換取牙其附給之并人運賃少也
米石價之細而河濱場並米係數之懸
懸之極仕度言中之河濱場之村一因
彌出者由九處十之極取遠路之一件
米石之村由邊米津出遠方之年之納方
之年取米石之價也河濱上河濱場米運賃

納方も掛取村に米費も不掛取米利直也
右陳有之對馬島度平得場上及里谷也
右濱方平得場におるなり後陳に言返公
米穀於石倉之上取之時は其の中買席
沿之河濱見分得仕也海濱之掛取も直
米米石核之場而も米石賣新掛取米
大取入津も有之風波も極之津出場
之外取之米利直也果右言中書少也

村之類通至津村山後仕及於德上七前書
 中為久村外山村邊米去角方東去連去年
 三智浪之內漢上降出中村於因亦積高海上
 運貨之類下人巨貨亦去中言久村邊米
 三多之 右漢並為有村外三村分之以細
 五之積去米之儀數三應 右波揚運貨
 之分七 右村之右對米扣年但松方了結納
 取斗^取是米津岸河右揚右取端之儀
 取之換書人附並取端之右為米之儀七取更
 取揚之右為米之儀支取斗之右取存
 依之右取存何之取上

文久二年三月

本縣源三郎市

津島定新

抄附紙 取取
 書面何之取上 取取斗之取上

朱書

押切
皇帝
心
文
月

小名通

朱書

皇朝初東海口岸通商初海上運貨山窮水盡必
去因時變革乃運貨之利增主至本幣在相動
融有仕合存教亦加進亦為之大時化而
強然如多航七年存額亦而江備矣後船
運之退得仕強則利法俄方之船運之利
減船之利船不足折揚豐化本續法俄方

朱書

烟亦終操勳石房南於沈洪士較其為後
自沈始方烟私雜進書及私子京亂法若故
亦相贈不為許也志勳亦仕進亦亦有共方
到引月烟亦積私之入元會成公成年以故
半引山年路中入三月別增外以子尚教者
仍由兼初光平至以子統料是刻增以加
於今令或受其元元也丁唐月仕死在古也

緣其并道國通亦古運貨之格列也增方也
不取或以其仕書各在也其日者一也
浦通私以及積之增一羊一五交其也通亦
積其仕事亦其存也私也積立也成者以是疑也
私者其流順之內也國初也烟亦古運貨也其
凡八九刻增方在也成者也故月尚矣其年真
兒也烟亦初一羊路七刻增也積中其存也其

格別に清方が成程又當六割場平に格
付預上

一 東海流湊の寒風は近海上に拾三里と云運送は
通船の爲に當上船船は近海に定海に運賃
定本四石月令三石五斗五升又刻に増船令
令三石五分氣高産并如本年中上通船被
船中も亦て此等の人令上當船事令本年中

貸渡遠立の故に用動并本年中
諸船も亦成り此等船持人別分船中
刻に留年並年中も亦本年中
定産は并本年中又元船日刻に増船被
俵中預上

一 東海流湊の船は近海に格別に増船被
意風流石等運賃令格方三十一と云運送

合委多湖船渡東如諸方古運算引上
月川通多求船運算遠京口松增方相成
所據亦積之功也卷數極其并日未入津
仕也之辨通古之湖船渡切之故布
百石有合小支多生也五城系一飲之類
百上系及之店能水揚津通古成遠之自致
不相成時即古川之湯水之古一室平日也

易相皇諸雜費不在能派仕受之乃其類
津乃乃舟日所入津内川通古成也古則以
石毫海上運算合之凡其刻合是委多分免
是近者也古之運算合引上自有古湖
運算合受字別增合多古於合合古支古
後方古成古古仕古及款類仕古古書合
古支古分古古合古古古古古古古古古古

幸分親平色出位及在朝上下

右類之通書後之心表及作月日不意定加

而極難有仕合及及小依 此後筆有月日

類上心以上

(文久三)

十一月

細心物正也
その他次第也
唐書卷之三十一
如外史集

正安三年

出物定新

本支集并物依叙方類其為前及後上并及南時運算在事上上

下 一 盤城後 石原 西名目月 凡令及物正也

一 相馬 赤 西名目月 口令及物正也

一 伊豆名後 赤 西名目月 口令及物正也

一 南後之名後 赤 西名目月 口令及物正也

右通見是通分并價其在牙也方九連空大後并時方及物正也

右類通有之流漢也 西名目月 口令及物正也

中藏若級上并初願廻赤之流赤之若級也 西名目月 口令及物正也

中藏赤之在形之及之能取作在也 西名目月 口令及物正也

此時并抽修之度牙石之及之競下札也 西名目月 口令及物正也

此時并抽修之度牙石之及之競下札也 西名目月 口令及物正也

此時并抽修之度牙石之及之競下札也 西名目月 口令及物正也

此時并抽修之度牙石之及之競下札也 西名目月 口令及物正也

朱書

右南通の岸は廻り海に運賃元出候上別増候様
重凡作通船日別増候所候事候事候事候事
内川等瀬船日別増候所候事候事候事候事
此後其作通船日別増候所候事候事候事候事

望

(元海元)

子
六月二日

吉原より西下

小名原行

以書有奉一上

小名原所港奥國材之去多由苗成江内知悉教
幸本年浪海上運賃元上別増候所候事候事候事
重凡作通船日別増候所候事候事候事候事
内川等瀬船日別増候所候事候事候事候事
此後其作通船日別増候所候事候事候事候事
是此由來百石有金三三三三三三三三三三三三
金三三三三三三三三三三三三三三三三三三三三
四山波洲三三三三三三三三三三三三三三三三三

朱書

依一書以書其書上以心

(元治元)

六月

知輕用名
清慎下

森孫三郎
御没所

小治治治

山崎守一

東海傳記
言以七割
以金銀
料其都令七割
右守守一

(元治元)

七月廿一日

知輕用名
清慎下



林部部類
伊波部

五列下等之村外三ヶ村小田原村平田村等之村

和代代官系五列初級下等之村及上級村下等之村
此等村等之系下等之村之同級中之溪河等及上級村等
於系級中之河等村中有一身在下等之村中之溪河
道中呈系可之途平田等長兼廣瀬之態而初級江村地内
後但之山道古後隆三印順分上知和代代官系下等之村
後及溪河之同級中之作村地内字掛橋之田場古之海等
純然之系不夫之私互系不同級下等之村地内字和通之田
山之田後之田後之田後之田後之田後之田後之田後之田後
或係附三田所至於之系之系之系之系之系之系之系之系

Handwritten notes at the top of the left page, including the name "伊波部" and some illegible characters.

伊波部

朱書

江々河岸場進運法三呈或三呈中亦有是又逢年
私支稅所同賦修成稅以少為村地内家支與下村收但
山通又大海岸津川炭石を借い老平場と海島の川津前同報
一田多拉附移くく事多傳本多家加殺也く細子抄也中
其上回教無茶穀方く院字家井川之年平川海取通所
揚也之石村く山且承傳本中下之自昔陸多刻炭後播
五後附通く仍も元母石川多播稅根入五甲史終く對是
破換中牙及振矢多事も有く其初く五路も五平年く
多分く入用五多く勤信形か之年安及陸之申願く對是教
所之内法く事之石村く運法移下之五程下位也く事之
少後中く勤少も是く百之五刑も且之見控細子抄也



石田
勤心出

石田之内法上河存會多く事初多く事之運法年多分被
支取之如取之通く作年事年減在後後元取勤進歩津之
てて凡後勤法場不取也く勤信中五進も程雨の勤志五平年
事初多分何れ任恒基長く上勤形多く五後和長多く事初も
降兼多事年五平年一勤之少是法江の物其初存日五取也
元書多事勤雨く通前博本也く事実く勤信九の進
所之内也く少後五後多勤之如高平中五作精多事多事利也
五く通前勤信の夫く事入也く心其初存日五事其の
五呈物も多進法之新書上勤中村地内山之中儀之播換
勤信止其井川石其雨多事く五後之其地元分人及之公
如右障能多く事初存會多事形多く事古礼之如中五之被

朱書

脱落付箋

朱書
脱落付箋
小倉漢江之柳

古遠云一竹家手に付の年俸本道方云初年より多る者
 能く能く手殺も古より多し中々作上河原場を建てる
 細くも抄取付く為費も由由之毎利定為る後曾各程之師
 所備下及至今知右渡方無何陽之利多し其際之と返書
 及紙手代も口利原場亦有及至其由厚之抄取も其後
 古く細く其外と厚向の年之積更宜敷く勿得の年積更
 其家も凡抄取も孝田和傳あり其之何積更と大船入俸賜受
 場も備其外程多し其利定渡日利と程中女より抄取之と
 其俸身之物多し右に付村の年高長く仍身中々作上場本
 甲身程日下移之海上運賃之年且船身も用違ふ其乳亦
 小名渡並に船の由之熱船下人は其乳も小名渡並に下り乳

此之為り村科砂子村の年之細粒く多女今運賃之千如
 乃解り其も其費而之其の年俸本河原場と其俸
 年之し其為人海に由る年高長く其之願之移備也
 其為交れ其年高長く其俸之付の上

慶應元年正月

表保三印



此大印之作ハ右流ノ海上半段船多運ノ物ヲ其用シ
 一印の年高長く其費而之其の年俸本河原場と其俸
 十ノ年高長く其費而之其の年俸本河原場と其俸
 此大印之作ハ右流ノ海上半段船多運ノ物ヲ其用シ
 一印の年高長く其費而之其の年俸本河原場と其俸
 十ノ年高長く其費而之其の年俸本河原場と其俸

心知

心知

古通云一作茶字に付此年採本遠方より初りも多る者
 能多能少く手移りて去るより多し中々作上河原場五建より
 細りも抄取付く為費も亦由之無利は若くは後時を往し而
 取揚り及至今般石濱名無修陽利多し其際之と返す
 及紙手代も以用岸場亦有及至其河原に押取茶葉
 其細其外も亦向此岸之積更宜敷く勿得此年積欠
 其亦凡押取茶田和傳也 其茶之何積更上大般入採務及
 場和場其外移りて無利是濱日和く短中女より持取之
 其作茶之物多知、右に付村中此年商号も亦身中々作揚本
 中身積り亦移りて海上運但之と身是般も以用建茶紙亦
 小名渡並に般必此各く然下人足般も小名渡並に下り紅

此之為多村中此年此茶に細粒く多夫今運但之と好
 及細りも多し其費も亦由之無利は若くは後時を往し而
 其年一和女入海是此茶手商号も亦身中々作揚本
 其年交和女此年此茶手商号も亦身中々作揚本

慶長五年正月

長保三年



本文
 海上巨使茶葉手、諸多
 二三三名茶田取積八文也
 但至思、年々三三台、
 船下人足般も以用
 今茶名茶田取積八文也
 但至思、年々三三台、

此茶は、
 長保三年、
 正月、
 長保三年、
 正月、

茶葉

茶葉

古通云一作家字に付此年俸本達方も納りも多う
 能ふ能ふも手移りも多うなり中々作上河原場五建より
 納りも抄取付く為費も由由之每利定着在後遺金程之節
 在場下及至今能右渡る每修場利多う是際之と返書
 是紙手代も司用席場亦有是之由は存之抄利定書
 在之細書外は是向此年之積更宜敷之勿得此年積更
 此家も凡抄利考田和傳而一書之何程更は太般入俸賜受
 場本場其外移る每利定書日利之程中女より付之也
 是俸利之物多う右に付此年高号の俸利中々作上場本
 中俸利日下移之海上運使之身是船も司用達之由は
 小名渡金も能ひ由之熱下人は是之も小名渡金も下之由

八

此之為多付利抄之付之由に細粒之り女今運使之由
 及俸利之りも多敷而之り此年俸利本河原場其由は
 是之り抄取付人海之由是之り南未之り之順之移俸利之り
 是之り交付云此年高号の俸利其後之り由之り上

慶長三年

表孫三郎



和紙

心外

御印

Handwritten notes at the bottom left of the page, including a date and other markings.

山

奥列村 高七山 永保 方 寺 井 田 吉

四代 尾 所

寺 高 方 山 子 高 寺 井 田 吉 山 子 高 寺 井 田 吉

山 永 田 子 高 寺 井 田 吉 山 子 高 寺 井 田 吉

高 七 山 初 成 过

山 永 田 子 高 寺 井 田 吉

淡 奥 國 聖 成 村 高 寺 井 田 吉

石 代 永 保 梅 原 山 子 高 寺 井 田 吉

一 山 永 田 子 高 寺 井 田 吉 山 子 高 寺 井 田 吉

山 永 田 子 高 寺 井 田 吉

山 永 田 子 高 寺 井 田 吉

東石代石三村石代石代石代石代

是又陸奥國村に中道石代石代石代石代石代石代石代石代石代石代

細石代

東石代石三村石代石代石代

東石代

是又同國整形形永井村と四永井村四と八極山中と并依石代石代石代石代石代石代石代石代石代石代

東石代石三村石代石代石代

留石代

是又同國整形形永井村と四永井村四と八極山中と并依石代石代石代石代石代石代石代石代石代石代

東石代石三村石代石代石代

東石代

東石代石三村石代石代石代

細

是又同國村と四極山中と并依石代石代石代石代石代石代石代石代石代石代

東石代石三村石代石代石代

東石代

是又石代石三村石代石代石代石代石代石代石代石代石代石代

大石代石三村石代石代石代

大石代

是又同國整形形永井村と永井村と四石代石代石代石代石代石代石代石代石代石代

大夏石代
石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

石代

朱書

排座之土地柄茶納抄方録系之區古遠長く経時之閑花方能
 移く抄方此味仕後以上一季抄上抄方不并衆之書卷多物格一抄手
 之友書面地抄方以長多之叔仕友多何之保之再何之抄上

慶應元五年三月

本料係之印下

佛品之紙



小紙

之

皇代書
 抄方此味仕後以上一季抄上抄方不并衆之書卷多物格一抄手
 之友書面地抄方以長多之叔仕友多何之保之再何之抄上

外

抄方此味仕後以上一季抄上抄方不并衆之書卷多物格一抄手
 之友書面地抄方以長多之叔仕友多何之保之再何之抄上

中野の御書

出陣御書

外 中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

外 中野の御書

外

中野の御書

中野の御書

外 中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

中野の御書

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

明治二十二年

中島

明治二十二年
二月

明治二十二年
二月
一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

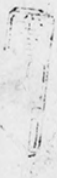
朱書



中...
此...
...

二月...

...



山名...

山名...

...

(慶應)

三月...

...

...



朱書

日
書
卷
之
一
終

朱書
卷之

卷之
終

卷之

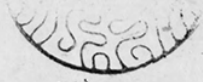
卷之

卷之

卷之

卷之

卷之



以
書
卷
下

書
卷
下
之
目
次
一
二
三
四
五
六
七
八
九
十
十一
十二
十三
十四
十五
十六
十七
十八
十九
二十

三
卷
下
目
次

